

情報コーナー

鳴門市賀川豊彦記念館

館の紹介

鳴門市賀川豊彦記念館は、賀川豊彦鳴門記念館設立を目指す会・賀川豊彦鳴門記念館建設実行委員会の活動により、3千人近くの方々からご寄付をいただき、徳島県鳴門市大麻町において2002年の春に完成し、鳴門市へ寄贈されました。

苦節6年の末、民間のみによる建設で、内外装とも豪華とはいえませんが、手づくりの温かみのある記念館であると自負しております。

この場をお借りして、多大なご支援をいただきました皆様方に、心より厚く感謝申し上げ、鳴門の地へお越しの際はぜひご来館いただきますようお願いいたします。



鳴門市賀川豊彦記念館の外観

世界協同組合文化遺産に日本で唯一の選定！

2025年11月13日、当館が国際協同組合同盟(ICA)の「世界協同組合文化遺産」に選定されました。世界25か国32組織のうち、日本で唯一の選定です。

2025年は国連が定めた「国際協同組合年」であり、その取組の一つとして協同組合の理念を広めるため選定されました。徳島が生んだ社会運動家・賀川豊彦の友愛・互助・平和の精神を伝える多数の資料と、周辺の自然と調和した施設の外観が評価されたものです。

この機会にぜひ当館へお越しください。



賀川豊彦(1888～1960)

〒779-0225 鳴門市大麻町松字東山田50-2

☎088-689-5050(鳴門市賀川豊彦記念館)

東福寺美術館

館の紹介

当館は、当寺所蔵の文化財や襖絵などを保存・展示・公開し、広く檀信徒並びに一般の皆様方の文化の向上に寄与する目的で、平成2年11月に建てられました。当館は阿波国(徳島県)出身者の作品を主に所蔵し、絵画や書など約1000点を数えます。このうち約200点を常設展示し、年3回ほど展示替えを行っています。

絵画は、阿波藩の御用絵師を中心に、狩野派の狩野典信、佐々木惟照、矢野栄教、河野栄寿、中山養福、住吉派の渡辺広輝、守住貫魚、鈴江貫中、佐香貫古、原鵬雲、三好賢古、森魚淵、守住勇魚、守住周魚、浜口南涯、井川鳴門、松浦春挙、前田半田、野口小蘋、野口小蕙以下50余名の作品を展示しています。

書は、飯尾常房の懐紙、前田玄以、千利休、小堀遠州の消息文や茶伝をはじめ、阿波藩儒官の新居水竹、柴秋邨、岡本韋庵、幕末三筆の貫名松菴、市河米庵、巻菱湖、紺綬褒章受章の小坂奇石、当寺本山仁和寺門跡の染筆、梅舒適など50点余りを所蔵しています。



東福寺美術館の内観

三好賢古の図録発刊

令和7年7月1日に、三好賢古の図録「三好賢古—近代阿波の住吉派」を発刊しました。この図録は60ページのオールカラーで、四国大学文学部日本文学教授・須藤茂樹氏の監修、住職・沖田憲信師の発刊の辞、須藤茂樹教授の解説、名誉住職・沖田定信師のあとがきからなります。

平成18年10月、賢古の曾孫である一賢氏より40点の作品をご寄贈いただき、賢古の作品を数多く所蔵している美術館として、多くの方々に見ていただきたく、この図録を発刊しました。



図録の表紙

〒779-4109 美馬郡つるぎ町貞光字木屋341

☎0883-62-2207(東福寺美術館)

徳島県博物館協議会ニュース No.81

令和8年4月1日発行

編集・発行者

〒770-8070

徳島市八万町向寺山 徳島県立博物館内
徳島県博物館協議会事務局

TEL 088-668-3636 FAX 088-668-7197

徳島県博物館協議会

2026年4月
NO. 81
ニュース

徳島県博物館協議会は、徳島県内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興をはかるため、平成8年2月27日に設立されました。現在は50館で組織しています。

各加盟館の情報は、WEB上では「徳島県博物館マップ」からご覧いただけます。

(<https://museum.bunmori.tokushimajp/tokuhakukyo/default.htm>)



活動報告

後援事業紹介

鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム

徳島が生んだ世界的な人類学者である鳥居龍蔵(1870-1953)は、その生涯を通して東アジアを中心に地域研究に取り組み、大きな業績を残しました。徳島県立鳥居龍蔵記念博物館(以下「当館」)では、こうした鳥居の業績を記念し、平成28年度から、徳島県在住の中学生・高校生が地域の歴史・文化に関する自主研究の成果を発表し合う「徳島歴史文化フォーラム」を、徳島県立博物館との共催で行っています。10回目となる今回は、2月14日(土)に文化の森イベントホールで開催し、中学生の部3組、高校生の部3組の計組が研究発表を行いました。

中学生の部では、鮎喰川流域の銅鐸について調べたもの、徳島・松山大空襲について調べたもの、高地蔵に詰まる歴史について調べたものがありました。高校生の部では、峰八古墳群について調べたもの、鳥居龍蔵の台湾調査とフィールドノートについて調べたもの、徳島市にあったドイツ兵捕虜収容所について調べたものがありました。

発表後には審査委員から質疑と講評があり、発表者にとって大きな励みになったと思います。当館では、今後も歴史・文化に関心のある中学生・高校生への支援を継続していきます。



徳島歴史文化フォーラムの様子

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園

☎088-668-2544(徳島県立鳥居龍蔵記念博物館)

活動予定

博物館アワカルト講座

当協議会加盟館(園)の連携企画「2026年度博物館アワカルト講座」を、次のとおり開催いたします。

各館(園)の特色と長所を活かし、複数の講演や活動をお楽しみいただけますので、お気軽にご参加ください。いずれも事前申込不要、先着順、参加費無料です。

第1回 共通テーマ「獣」

日時 2026年11月1日(日) 13:30～16:00

場所 とくしま動物園

演題 ①白い獣と黒い獣
②獣と大昔の人びと
③美術における獣性について

定員 50名

第2回 共通テーマ「色」

日時 2026年12月6日(日) 13:30～16:00

場所 藍住町歴史館 藍の館

演題 ①藍の基礎知識と応用について
②色々とりどりな昆虫
③色の見え方と美術鑑賞

定員 20名

第3回 共通テーマ「地」

日時 2027年2月21日(日) 13:30～16:00

場所 阿波市立土成歴史館

演題 ①阿波市の石造物
②土柱をつくる地層と独特な地形は、どのようにしてできたのか?
③阿波市の中世荘園・秋月荘と細川氏

定員 25名

第4回 共通テーマ「探」

日時 2027年3月21日(日) 13:30～16:00

場所 海陽町立博物館

演題 ①多良古墳群の発見から調査まで
②山へ、川へ、洞窟へ…新種のクモ発見までの道のり
③未知の植物を探る

定員 30名

情報コーナー

情報コーナー

あすたむらんど徳島子ども科学館

手づくり工房「よくとぶひこうき」

つばさの付け方で飛び方が変わるよ！実際に飛ばして研究しよう！

期日：2026年4月1日(水)～4月30日(木)
時間：平日は10:30～12:00、13:00～16:00
(受付は各回終了30分前まで)
土・日・祝・振替休は10:00～16:30
(受付は16:00まで)



※4月29日(水・祝)と4月30日(木)は、午後の最終受付を16:30まで延長します。

場所：体験工房
費用：150円

手づくり工房「ヨーヨー」

なぜヨーヨーは戻ってくるの？実際に作って学ぼう！

期日：2026年5月1日(金)～6月30日(火)
時間：平日は10:30～12:00、13:00～16:00
(受付は各回終了30分前まで)
土・日・祝・振替休は10:00～16:30
(受付は16:00まで)

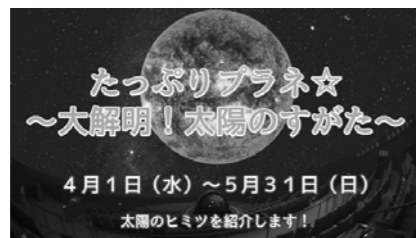
※5月1日(金)から5月6日(水・振替休)まで、午後の最終受付を16:30まで延長します。

場所：体験工房
費用：300円



たっぷりプラネ☆～大解明！太陽のすがた～

太陽のヒミツを紹介します！
期日：2026年4月1日(水)～5月31日(日)
時間：13:00～13:50、15:40～16:30
場所：プラネタリウム
費用：プラネタリウム観覧券が必要



〒779-0111 板野郡板野町那東字キビガ谷 45-22
☎ 088-672-7111 (あすたむらんど徳島子ども科学館)

徳島県立近代美術館

特別展「生誕100年 吹田文明の人生でたどる版画100年のドラマ」

戦争体験、小学校教員としての出発、国際展での評価、美術大学での教員時代、そして2000年代に至るまで——徳島県阿南市出身の版画家・吹田文明(1926-)の波瀾万丈な人生を、当館所蔵の作品を中心に再構成します。また、同時代の作家や現代版画の動向を紹介するトピック展示を交え、戦後日本版画のなかで吹田文明が歩んだ道程を改めて見つめ直します。当館では、2006年に開催した個展以来、20年ぶりとなる大規模な展覧会です。
会期：2026年4月25日(土)～6月28日(日)



吹田文明「南に散りし友に捧ぐⅡ(戦後50年の鎮魂詩)」1995年 徳島県立近代美術館蔵

所蔵作品展 2026年度Ⅰ「目は口ほどに」

「目は口ほどに物を言う」ということわざのとおり、私たちは他者の眼差しから様々な感情や意図を読み取ろうとします。当館は「人間像」を収集方針の一つとしており、目が印象的に表された作品を数多く所蔵しています。本展では、目の表現に注目し、作品における「目」が鑑賞者にどのように働きかけるのかを探ります。

会期：2026年4月11日(土)～7月5日(日)



尾形月耕「花見うらゝか」明治後期 徳島県立近代美術館蔵(前期展示)

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園
☎ 088-668-1088 (徳島県立近代美術館)

日和佐うみがめ博物館カレッタ

リニューアルオープン

ウミガメ産卵地として日本で最初の国指定天然記念物である「大浜海岸」に隣接する当館は、開館40周年を迎えた令和7年7月19日にリニューアルオープンしました。

リニューアルにより、カメ類の特徴や地質年代に対応したカメ類の進化系統樹と生体展示を組み合わせてフロア空間全体に展開する展示、ウミガメの生態・環境問題・調査活動、ヒトとウミガメの文化などに関する最新情報を取り入れたビジュアル情報を主としたパネル展示、ウミガメのぬり絵をスキャンして大画面に投影し様々な困難に出会う姿を見る体験型展示、そして、旧日和佐町の時代から続くウミガメと共に歩んだ町ぐるみのウミガメ保全活動の紹介など、館内の展示を一新しました。また、解説文は日本語と英語を併記するとともに、スマートフォンでのQRコード読み込みによってスペイン語、中国語(繁体/簡体)、表示にも対応しました。



リニューアル後の内観

生体展示では、アニマルウェルフェアに配慮して飼育密度を下げ、ゆったりと泳ぐウミガメを展示する屋外飼育プール、近隣で保護されたウミガメを一時収容、回復後に放流する目的で「保護研究棟」を新たに設置しました。

日本ウミガメ会議の開催

日本ウミガメ会議は、1988年に旧日和佐町で開催された「日和佐海亀国際会議」が開催の端緒で、国内のウミガメ保全活動における情報交換の場として、1990年から毎年ウミガメに関係のある地で開催されています。

今回は、当館のリニューアルと開館40周年を機に、「第36回日本ウミガメ会議美波大会」として、令和7年11月28日から30日の日程で美波町において開催され、300名を超えるウミガメ関係者が参加しました。

主な内容は、大浜海岸と当館の見学、日和佐中学校海亀研究班を発足・指導した近藤康男氏のビデオメッセージ上映と当館初代館長の中東覚氏の講演、2025年の国内のウミガメ産卵・漂着・混獲状況データのとりまとめ、15題の口頭発表と27題のポスター発表が行われました。



第36回日本ウミガメ会議美波大会の参加者(美波町日和佐公民館)

〒779-2304 海部郡美波町日和佐浦 369
☎ 0884-77-1110 (日和佐うみがめ博物館カレッタ)

川口ダム自然エネルギーミュージアム

工作教室「ぶるぶる実験！スライムづくり」

まぜて、さわって、びっくり！ふしぎな感触のスライムをつくってみよう。

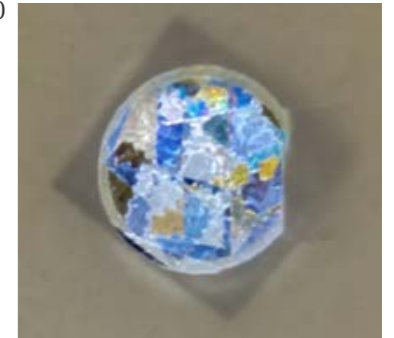
期日：4月11日(土)～4月29日(水・祝)の土・日・祝
時間：9:30～16:30
費用：100円



GW無料工作「光のふしぎ万華鏡づくり」

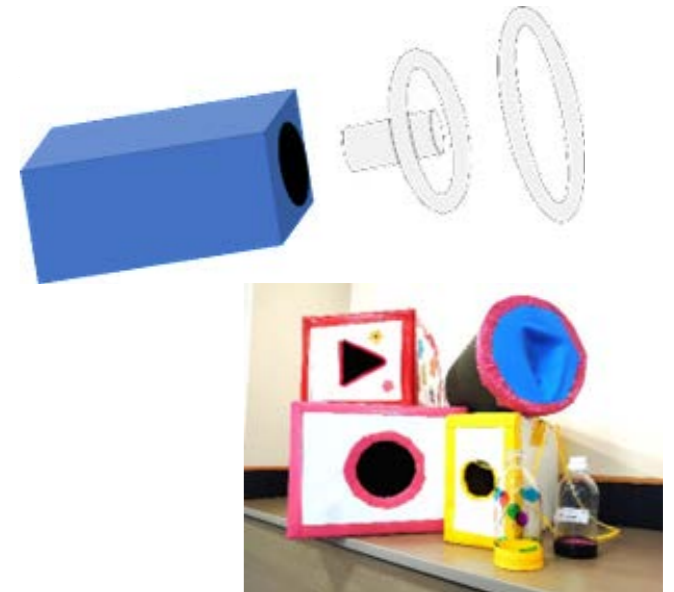
セロハンテープで色が見える、ふしぎな万華鏡づくり。

期日：5月2日(土)～5月6日(水・振替休)
時間：9:30～16:30
費用：無料



GW無料工作「空気であさぼう！」

いろいろなものをねらって、空気砲をはなて！
期日：5月2日(土)～5月6日(水・振替休)



〒771-5408 那賀郡那賀町吉野字イヤ谷 72-1
☎ 0884-62-2209 (川口ダム自然エネルギーミュージアム)